



2019年2月14日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号  
株式会社ペッパーフードサービス  
代表取締役社長CEO 一瀬 邦夫  
(コード番号: 3053) 東証第一部  
NASDAQ (ティッカーシンボル: KPFS)  
問い合わせ先 総務本部長 安田 一郎  
電話番号 03 (3829) 3210

### 特別損失の計上に関するお知らせ

当社及び当社グループは、2018年12月期 第4四半期(2018年10月1日～2018年12月31日)において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結決算における特別損失の計上について

##### ① 減損損失の計上について

当社子会社運営のいきなり!ステーキ 11店舗において、7店舗の退店を見込んでいること及び継続する店舗(既存店)における収益性改善が長期化することから2018年12月期 第4四半期において減損損失1,158百万円を特別損失として計上いたします。

##### ② 事業構造改善引当金繰入額の計上について

①記載の事由により、退店が見込まれる店舗及び継続する不採算店舗において、物件リース契約に係る残契約年数に対し、リース料の回収が見込めない部分及び不動産仲介会社に対する手数料等を事業構造改善引当金繰入額として1,310百万円を特別損失に計上いたします。

#### 2. 個別決算における特別損失の計上について

##### ① 子会社株式評価損の計上について

子会社の財務内容を勘案し、子会社への出資金に対し、子会社株式評価損611百万円を特別損失として計上いたします。

##### ② 貸倒引当金繰入額の計上について

子会社の財務内容を勘案し、子会社に対する債権残高に対し、貸倒引当金繰入額1,919百万円を特別損失として計上いたします。

##### ③ 債務保証損失引当金繰入額の計上について

子会社の財務内容を勘案し、子会社の債務超過額に対し、債務保証損失引当金繰入額1,268百万円を特別損失として計上いたします。

### 3. 本処理について

本特別損失の計上は、収益性が見込めない子会社運営店舗を早期に撤退し、子会社の業績を改善する目的で行っております。

2019 年度には、子会社運営の 11 店舗のうち 7 店舗を閉店し、立地のよい 2 店舗に関しては米国ロサンゼルスで実績のあるペッパーランチへの業態変更を行い、収益力のある 2 店舗に関してはいきなり！ステーキとして継続運営いたします。また、新規店舗としてラスベガスにペッパーランチの出店を計画しております。

### 4. 業績に与える影響

業績への影響については、本日公表の「2018 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に織り込み済みです。

以 上